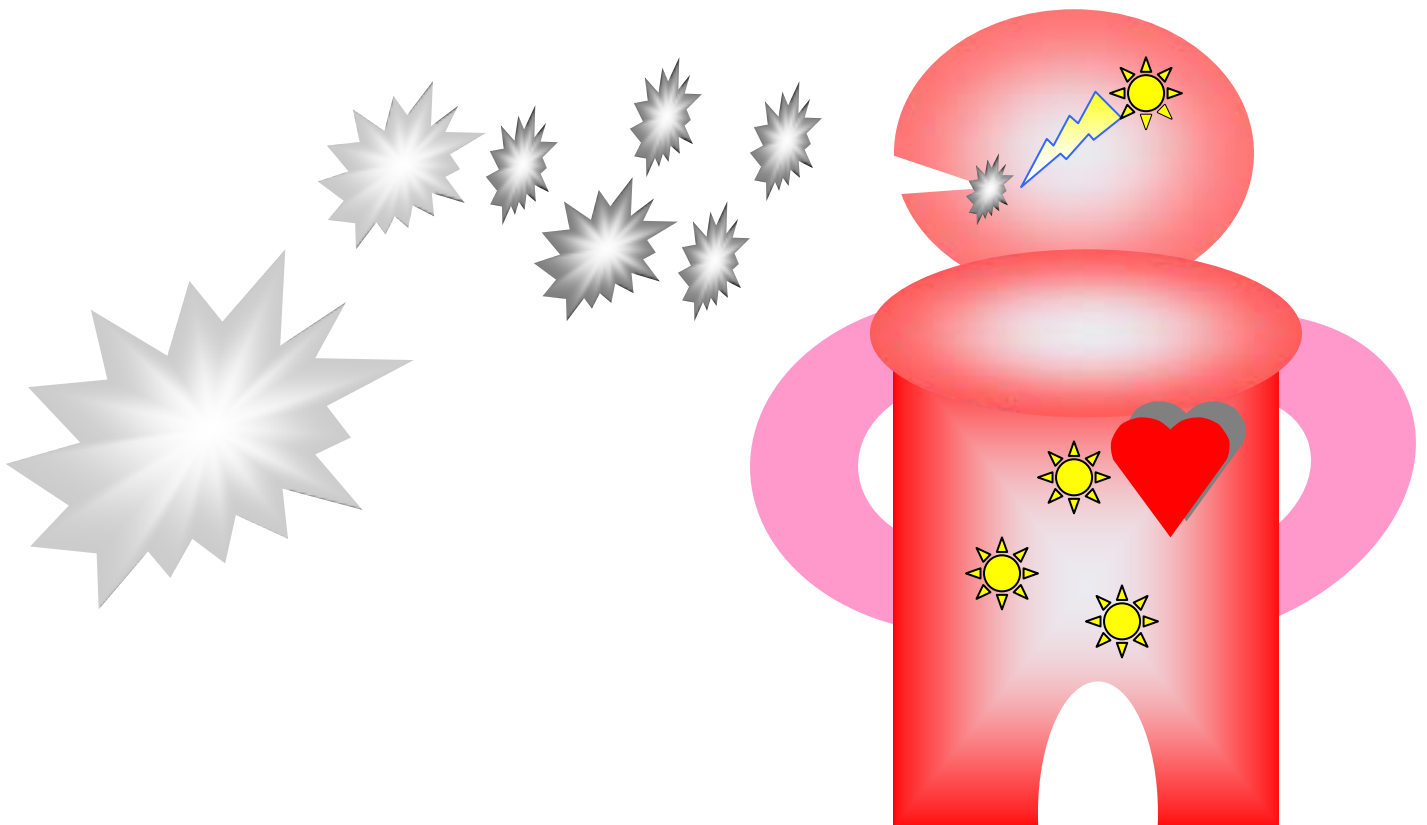




免疫血清検査



ヒトのカラダは、もともと体内にない細菌や異物が身体に侵入してくると‘抗体’という物質を作り、カラダを守ろうとする働きがあります。この防御反応を『免疫 ☀️ 』といいます。

HB s 抗原：B型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べます。

肝炎を引き起こしているかどうかをみるためには、肝機能検査など、さらに検査が必要となります。

HB s 抗体：過去にB型肝炎ウイルスの感染があった場合、B型肝炎ウイルスワクチンを接種した場合に抗体がみられます。

HCV抗体：C型肝炎ウイルスに対する抗体があるかどうかを調べます。

この抗体が陽性ならば、過去の感染によるものか、ウイルス活動期であるかを知るために、さらに精密な抗原・抗体の検査が必要となります。



全自動免疫測定装置 ルミパルス f

TP抗体：梅毒の検査です。治療後でも抗体が陽性になることがあります。

HTLV1抗体：成人T細胞白血病の原因となるウイルスに感染しているかどうかを調べます。

おもに妊婦の方で陽性の場合、このウイルスは母乳のなかに入り込むため母乳を飲んだ赤ちゃん感染しないように注意が必要となります。



甲状腺マ - カ -

甲状腺の機能を調べます TSH・FT3・FT4



甲状腺は首の前面にあり甲状腺ホルモンを合成・分泌する器官です。

甲状腺ホルモンは身体の成長・発育や新陳代謝の維持に必要不可欠で、精神活動にも重要な役割を果たし、常に一定になるように調節されています。

甲状腺ホルモンが過剰になると（甲状腺機能亢進症）、食べても食べても体重が減少し、脈が速く動悸や息切れを感じ、多量の汗をかき、皮膚は温かく手がふるえ、下痢をしやすく、
そわそわと落ち着きがなくなります。体がエネルギーを無駄づかいしている状態のようなものです。

逆に甲状腺ホルモンが不足すると（甲状腺機能低下症）、身体がむくんだようになり体重が増え、脈は遅く、皮膚は冷たく乾燥、便秘がちで、不活発・無気力になっていきます。
体がいつも眠っている状態とっていいでしょう。